



# 鳥取県公報

令和5年2月24日（金）  
第9475号

毎週火・金曜日発行

## 目 次

◇ 告 示	特定計量器の定期検査の実施（70）（くらしの安心推進課）	2
	公共測量の実施（71）（県土総務課）	2
	公共測量の終了（72）（〃）	2
	指定納付受託者の指定（73）（会計指導課）	2
◇ 公 告	警備業法に基づく検定の実施（4件）（警察本部生活安全企画課）	3

# 告 示

## 鳥取県告示第70号

計量法（平成4年法律第51号）第19条第1項の規定に基づき、特定計量器検定検査規則（平成5年通商産業省令第70号）第39条第1項の規定に該当する特定計量器の定期検査を実施するので、同法第21条第2項の規定により、次のとおり告示する。

令和5年2月24日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 実施区域  
倉吉市、境港市、西伯郡、日野郡並びに東伯郡北栄町及び琴浦町
- 2 実施期間  
令和5年4月3日（月）から令和6年3月29日（金）まで
- 3 実施場所  
当該特定計量器の所在の場所

## 鳥取県告示第71号

測量法（昭和24年法律第188号）第39条において準用する同法第14条第1項の規定に基づき、鳥取地方法務局長から次のとおり公共測量を実施する旨の通知があったので、同法第39条において準用する同法第14条第3項の規定により告示する。

令和5年2月24日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 作業種類 公共測量（基準点測量）
- 2 作業期間 令和4年12月1日から令和5年3月31日まで
- 3 作業地域 鳥取市

## 鳥取県告示第72号

測量法（昭和24年法律第188号）第39条において準用する同法第14条第2項の規定に基づき、鳥取県鳥取県土整備事務所長から次のとおり公共測量を終了した旨の通知があったので、同法第39条において準用する同法第14条第3項の規定により告示する。

令和5年2月24日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 作業種類 公共測量（基準点測量）
- 2 作業地域 岩美郡岩美町大字陸上地内
- 3 終了年月日 令和5年1月6日

## 鳥取県告示第73号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第231条の2の3第1項の規定に基づき、指定納付受託者を次のとおり指定したので、同条第2項の規定により告示する。

令和5年2月24日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 指定納付受託者の名称及び主たる事務所の所在地  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 東京都江東区豊洲三丁目3-3
- 2 指定年月日  
令和5年3月27日
- 3 納付事務を行う歳入等

マイナポータルを経由する旅券発給申請に係るクレジットカードを利用して納付する旅券発給手数料

## 公 告

警備業法（昭和47年法律第117号）第23条第1項の規定に基づき、警備員等の検定等に関する規則（平成17年  
国家公安委員会規則第20号）第4条に規定する検定を次のとおり実施する。

令和5年2月24日

鳥取県公安委員会委員長 久 本 雅 義

- 1 検定に係る警備業務の種別及び級  
貴重品運搬警備業務 1級
- 2 実施日時
  - (1) 学科試験  
令和5年5月11日（木）午前9時30分から午前11時まで
  - (2) 実技試験  
令和5年7月1日（土）午前8時30分から午後5時まで
- 3 実施場所
  - (1) 学科試験  
鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎4階第27会議室
  - (2) 実技試験  
広島県広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター
- 4 受検定員  
5名
- 5 検定の内容
  - (1) 学科試験
    - ア 警備業務に関する基本的な事項
    - イ 法令に関すること。
    - ウ 貴重品運搬警備業務を実施するために使用する車両（以下「貴重品運搬警備業務用車両」という。）並びに車両による伴走及び周囲の見張りに関すること。
    - エ 貴重品運搬警備業務の管理に関すること。
    - オ 運搬中の現金、貴金属、有価証券等の貴重品に係る盗難等の事故が発生した場合における応急の措置に関すること。
  - (2) 実技試験
    - ア 貴重品運搬警備業務用車両並びに車両による伴走及び周囲の見張りに関すること。
    - イ 貴重品運搬警備業務の管理に関すること。
    - ウ 運搬中の現金、貴金属、有価証券等の貴重品に係る盗難等の事故が発生した場合における応急の措置に関すること。
- 6 受検資格  
県内に住所を有する者又は県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものであって、次のいずれかに該当するものであること。
  - (1) 貴重品運搬警備業務について2級の検定に係る合格証明書の交付を受けている者であって、当該合格証明書の交付を受けた後、貴重品運搬警備業務に従事した期間が1年以上であるもの
  - (2) 鳥取県公安委員会が前号に掲げる者と同等以上の知識及び能力を有すると認める者
- 7 検定申請書の受付期間  
令和5年4月10日（月）から同月14日（金）までの日の午前8時30分から午後5時15分まで
- 8 検定申請書の提出先等

次の警察署に提出すること（持参以外の方法による検定申請書の提出は、認めない。）。

なお、検定申請の受付は、先着順とし、受検定員に達した場合は受付期間の途中であっても締め切る。

- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を管轄する警察署
- (2) 県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所の所在地を管轄する警察署

#### 9 検定申請書の提出部数等

検定申請書は1通とし、次に掲げる書類を添付すること。

- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を疎明する書面
- (2) 県外に住所を有する警備員で、その者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所に属することを疎明する書面
- (3) 写真（申請前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦3センチメートル、横2.4センチメートルの大きさで、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したもの）2葉
- (4) 6の(1)に該当する者にあつては、そのことを疎明する書面
- (5) 6の(2)に該当する者にあつては、1級検定受検資格認定書の写し

#### 10 検定手数料及び納付方法

- (1) 検定手数料 16,000円
- (2) 納付方法  
(1)に記載する金額を8の(1)又は(2)の警察署において納付すること。

#### 11 その他

- (1) この検定は、鳥取県公安委員会、広島県公安委員会及び島根県公安委員会が共同で実施する。
- (2) 実技試験は、学科試験合格者に対してのみ実施する。
- (3) 受検者は、筆記用具を持参すること。
- (4) この検定についての問合せは、各警察署又は鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課（電話0857-23-0110（代））にすること。

---

警備業法（昭和47年法律第117号）第23条第1項の規定に基づき、警備員等の検定等に関する規則（平成17年国家公安委員会規則第20号）第4条に規定する検定を次のとおり実施する。

令和5年2月24日

鳥取県公安委員会委員長 久 本 雅 義

#### 1 検定に係る警備業務の種別及び級

貴重品運搬警備業務 2級

#### 2 実施日時

- (1) 学科試験  
令和5年5月11日（木）午前9時30分から午前11時まで
- (2) 実技試験  
令和5年6月24日（土）午前8時30分から午後5時まで

#### 3 実施場所

- (1) 学科試験  
鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎4階第27会議室
- (2) 実技試験  
広島県広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター

#### 4 受検定員

5名

#### 5 検定の内容

- (1) 学科試験

- ア 警備業務に関する基本的な事項
- イ 法令に関すること。
- ウ 貴重品運搬警備業務を実施するために使用する車両（以下「貴重品運搬警備業務用車両」という。）並びに車両による伴走及び周囲の見張りに関すること。
- エ 運搬中の現金、貴金属、有価証券等の貴重品に係る盗難等の事故が発生した場合における応急の措置に関すること。
- (2) 実技試験
- ア 貴重品運搬警備業務用車両並びに車両による伴走及び周囲の見張りに関すること。
- イ 運搬中の現金、貴金属、有価証券等の貴重品に係る盗難等の事故が発生した場合における応急の措置に関すること。
- 6 受検資格
- 県内に住所を有する者又は県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものであること。
- 7 検定申請書の受付期間
- 令和5年4月10日（月）から同月14日（金）までの日の午前8時30分から午後5時15分まで
- 8 検定申請書の提出先等
- 次の警察署に提出すること（持参以外の方法による検定申請書の提出は、認めない。）。
- なお、検定申請の受付は、先着順とし、受検定員に達した場合は受付期間の途中であっても締め切る。
- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を管轄する警察署
- (2) 県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所の所在地を管轄する警察署
- 9 検定申請書の提出部数等
- 検定申請書は1通とし、次に掲げる書類を添付すること。
- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を疎明する書面
- (2) 県外に住所を有する警備員で、その者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所に属することを疎明する書面
- (3) 写真（申請前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦3センチメートル、横2.4センチメートルの大きさで、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したもの）2葉
- 10 検定手数料及び納付方法
- (1) 検定手数料 16,000円
- (2) 納付方法
- (1)に記載する金額を8の(1)又は(2)の警察署において納付すること。
- 11 その他
- (1) この検定は、鳥取県公安委員会、広島県公安委員会及び島根県公安委員会が共同で実施する。
- (2) 実技試験は、学科試験合格者に対してのみ実施する。
- (3) 受検者は、筆記用具を持参すること。
- (4) この検定についての問合せは、各警察署又は鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課（電話0857-23-0110（代））にすること。

---

警備業法（昭和47年法律第117号）第23条第1項の規定に基づき、警備員等の検定等に関する規則（平成17年國家公安委員会規則第20号）第4条に規定する検定を次のとおり実施する。

令和5年2月24日

鳥取県公安委員会委員長 久 本 雅 義

- 1 検定に係る警備業務の種別及び級
- 空港保安警備業務 1級
- 2 実施日時

- (1) 学科試験  
令和5年6月1日(木)午前9時30分から午前11時まで
  - (2) 実技試験  
令和5年7月22日(土)午前8時30分から午後5時まで
- 3 実施場所
- (1) 学科試験  
鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎4階第27会議室
  - (2) 実技試験  
広島県広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター
- 4 受検定員  
5名
- 5 検定の内容
- (1) 学科試験
    - ア 警備業務に関する基本的な事項
    - イ 法令に関すること。
    - ウ 乗客等の接遇に関すること。
    - エ 手荷物その他の航空機に持ち込まれる物件の検査(以下「手荷物等検査」という。)に関すること。
    - オ 空港に関すること。
    - カ 空港保安警備業務の管理に関すること。
    - キ 航空の危険を生じさせるおそれのある物件及び不審者を発見した場合における応急の措置に関すること。
  - (2) 実技試験
    - ア 乗客等の接遇に関すること。
    - イ 手荷物等検査に関すること。
    - ウ 空港保安警備業務の管理に関すること。
    - エ 航空の危険を生じさせるおそれのある物件及び不審者を発見した場合における応急の措置に関すること。
- 6 受検資格  
県内に住所を有する者又は県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものであって、次のいずれかに該当するものであること。
- (1) 空港保安警備業務について2級の検定に係る合格証明書の交付を受けている者であって、当該合格証明書の交付を受けた後、空港保安警備業務に従事した期間が1年以上であるもの
  - (2) 鳥取県公安委員会が前号に掲げる者と同等以上の知識及び能力を有すると認める者
- 7 検定申請書の受付期間  
令和5年5月8日(月)から同月12日(金)までの日の午前8時30分から午後5時15分まで
- 8 検定申請書の提出先等  
次の警察署に提出すること(持参以外の方法による検定申請書の提出は、認めない。)  
なお、検定申請の受付は、先着順とし、受検定員に達した場合は受付期間の途中であっても締め切る。
- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を管轄する警察署
  - (2) 県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所の所在地を管轄する警察署
- 9 検定申請書の提出部数等  
検定申請書は1通とし、次に掲げる書類を添付すること。
- (1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を疎明する書面
  - (2) 県外に住所を有する警備員で、その者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所に属することを疎明する書面
  - (3) 写真(申請前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦3センチメートル、横2.4センチメ

- ートルの大きさで、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したもの) 2葉
- (4) 6の(1)に該当する者にあつては、そのことを疎明する書面
- (5) 6の(2)に該当する者にあつては、1級検定受検資格認定書の写し
- 10 検定手数料及び納付方法
- (1) 検定手数料 16,000円
- (2) 納付方法
- (1)に記載する金額を8の(1)又は(2)の警察署において納付すること。
- 11 その他
- (1) この検定は、鳥取県公安委員会、広島県公安委員会及び島根県公安委員会が共同で実施する。
- (2) 実技試験は、学科試験合格者に対してのみ実施する。
- (3) 受検者は、筆記用具を持参すること。
- (4) この検定についての問合せは、各警察署又は鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課(電話0857-23-0110(代))にすること。

警備業法(昭和47年法律第117号)第23条第1項の規定に基づき、警備員等の検定等に関する規則(平成17年国  
家公安委員会規則第20号)第4条に規定する検定を次のとおり実施する。

令和5年2月24日

鳥取県公安委員会委員長 久 本 雅 義

- 1 検定に係る警備業務の種別及び級
- 空港保安警備業務 2級
- 2 実施日時
- (1) 学科試験
- 令和5年6月1日(木)午前9時30分から午前11時まで
- (2) 実技試験
- 令和5年7月8日(土)午前8時30分から午後5時まで
- 3 実施場所
- (1) 学科試験
- 鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎4階第27会議室
- (2) 実技試験
- 広島県広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター
- 4 受検定員
- 5名
- 5 検定の内容
- (1) 学科試験
- ア 警備業務に関する基本的な事項
- イ 法令に関すること。
- ウ 乗客等の接遇に関すること。
- エ 手荷物その他の航空機に持ち込まれる物件の検査(以下「手荷物等検査」という。)に関すること。
- オ 空港に関すること。
- カ 航空の危険を生じさせるおそれのある物件及び不審者を発見した場合における応急の措置に関すること。
- (2) 実技試験
- ア 乗客等の接遇に関すること。
- イ 手荷物等検査に関すること。
- ウ 航空の危険を生じさせるおそれのある物件及び不審者を発見した場合における応急の措置に関すること。
- 6 受検資格

県内に住所を有する者又は県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものであること。

7 検定申請書の受付期間

令和5年5月8日（月）から同月12日（金）までの日の午前8時30分から午後5時15分まで

8 検定申請書の提出先等

次の警察署に提出すること（持参以外の方法による検定申請書の提出は、認めない。）。

なお、検定申請の受付は、先着順とし、受検定員に達した場合は受付期間の途中であっても締め切る。

(1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を管轄する警察署

(2) 県外に住所を有する警備員でその者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所の所在地を管轄する警察署

9 検定申請書の提出部数等

検定申請書は1通とし、次に掲げる書類を添付すること。

(1) 県内に住所を有する者にあつては、住所地を疎明する書面

(2) 県外に住所を有する警備員で、その者が属する営業所が県内にあるものにあつては、当該営業所に属することを疎明する書面

(3) 写真（申請前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦3センチメートル、横2.4センチメートルの大きさで、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したもの）2葉

10 検定手数料及び納付方法

(1) 検定手数料 16,000円

(2) 納付方法

(1)に記載する金額を8の(1)又は(2)の警察署において納付すること。

11 その他

(1) この検定は、鳥取県公安委員会、広島県公安委員会及び島根県公安委員会が共同で実施する。

(2) 実技試験は、学科試験合格者に対してのみ実施する。

(3) 受検者は、筆記用具を持参すること。

(4) この検定についての問合せは、各警察署又は鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課（電話0857-23-0110（代））にすること。